



日本学術会議公開シンポジウム

GLP(全球陸域研究計画)の推進と

国連持続可能な開発目標(SDGs)への貢献

日時：平成29年10月16日(月) 13:00~17:30

場所：日本学術会議講堂 〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34

参加費：無料

Global Land Programme (GLP: 全球陸域研究計画) は、2014年、新しい地球環境研究プラットフォームであるFuture Earthのコアプロジェクトとして再発足しました。GLPはFuture Earthが提起する8つの大きな課題群いずれとも、とりわけ「すべての人に水、エネルギー、食料を」及び「持続可能な農村開発を」と深く関わっています。また国連の持続可能な開発目標(SDGs)のいずれとも、とりわけ「持続可能な都市と地域」及び「陸域の生命」と深く関わっています。

本シンポジウムは第23期日本学術会議環境学委員会・地球惑星科学委員会合同IWD合同分科会GLP小委員会のこれまでの研究成果を紹介し、関連する諸領域との連携により、学際的な共同研究プロジェクトの発展に向けて議論します。

総合司会 春山成子(日本学術会議第三部会員、三重大学大学院生物資源学研究科教授)

13:00-13:05 開会挨拶

沖 大幹(日本学術会議連携会員、東京大学生産技術研究所教授)

13:05-13:25 モンスーンアジアにおける持続可能な土地利用の形成に向けて

氷見山幸夫(日本学術会議連携会員、北海道教育大学名誉教授)

13:25-13:45 ランドサイエンスへのGLP日本拠点オフィスの取り組み

GLP日本拠点オフィス

13:45-14:05 北東アジアの乾燥地における土地劣化・再生と社会-生態システムの再編

大黒俊哉(日本学術会議連携会員、東京大学大学院農学生命科学研究科教授)

14:05-14:25 山岳途上国における地域の持続性：パミールとヒマラヤの事例

渡辺悌二(北海道大学大学院地球環境科学研究院教授)

14:25-14:45 中国の都市地域における死後の土地利用

土居晴洋(大分大学教育学部教授)

14:45-15:00 休憩

15:00-15:20 中国における都市化に伴う郊外地域の変容-実態調査に基づく考察

季 増民(椋山女学園大学文化情報学部教授)

15:20-15:40 閉鎖性水域の水環境問題-地域環境問題を地球的課題につなげる考え方

近藤昭彦(日本学術会議連携会員、千葉大学環境リモートセンシング研究センター教授)

15:40-16:00 Fieldology (人環水土学) の構築

大崎 満(北海道大学大学院農学研究院名誉教授)

16:00-16:20 土地利用変化が流域水・物質循環に与える影響---長江流域を例として

王勤学(国立環境研究所地域環境研究センター主席研究員)

16:20-16:40 ダム湖水質に及ぼす温暖化の直接・間接影響と土地利用の重要性

占部城太郎(東北大学大学院生命科学研究科教授)

16:40-17:25 ディスカッション

17:25-17:30 閉会挨拶 氷見山幸夫(日本学術会議連携会員、北海道教育大学名誉教授)

主催：日本学術会議環境学委員会・地球惑星科学委員会合同FE WCRP合同分科会

後援：GLP日本拠点オフィス、日本地球惑星科学連合、地理学連携機構

問い合わせ先：氷見山幸夫(北海道教育大学名誉教授) E-mail: himiyamay@kkd.biglobe.ne.jp